

No.	<b>1-①</b>	事業名	<b>景観形成事業</b>
-----	------------	-----	---------------

《シンボルロード(鏡ヶ浦通り・北条海岸駐車場)》

- ・ 8月 ベゴニア
- ・ 12月 ビオラ, プリムラジュリアン, パンジー



《館山駅西口交通広場等(夕映え通り)》

- ・ 7月 マリーゴールド
- ・ 9月 コスモス
- ・ 11月 ポピー



No.	<b>1-②</b>	事業名	<b>景観形成事業</b>
-----	------------	-----	---------------

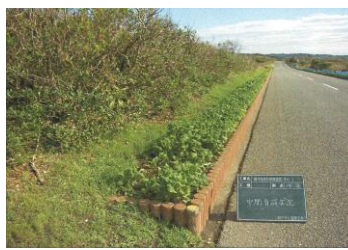
《フラワーライン美化事業》

- ・ 日本の道百選にも選ばれているフラワーラインを3工区に分け、花壇への植栽(菜の花)を実施した。
- ・ 例年、若潮マラソン大会(R2年度大会中止)が行われる1月下旬には見頃を迎えた。

着工前



中間



施肥  
耕転  
播種




開花





発芽



(参考写真)

No.	2	事業名	海辺の環境改善事業
<p>《海岸利用者マナー向上対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海水浴場のマナー向上のための啓発チラシ及び館山海浜ルールブックを作成・印刷した。</li> </ul> <p>《海岸美化対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良好な海岸環境を保つため、会計年度任用職員を雇用し通年の海岸清掃に取り組んだ。</li> </ul> <p>《沖ノ島環境保全事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者の利便性向上のため、沖ノ島進入路の整地及び駐車区画の設置に必要な資材を購入し施工するとともに、駐車場整備工事を実施した。</li> <li>沖ノ島は「首都圏から近い無人島」として、各種メディアで紹介されたことから多くの来訪者があるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、沖ノ島に通じる進入ゲートを閉鎖した。（閉鎖期間：R2.4/24～9/30）</li> </ul> <p>＜参考写真＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>《海岸美化対策》</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>《沖ノ島環境保全事業》</p>  </div> </div>			

No.	3	事業名	航路利用促進事業
<p>《東京～館山航路利用者増加施策》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東海汽船㈱の高速ジェット船春の季節運航の東京⇄館山航路について、特に都心部における宣伝・プロモーションに力を入れ、当該航路の認知度の向上を図るとともに、利用者の増大により海路を活用した交流人口の拡大と地域の活性化を図ることを目的に事業実施した。</li> </ul> <p>(1) リーフレットの作成・配布</p> <p>東海汽船㈱と合同で高速ジェット船春の季節運航「東京～館山航路」のリーフレットを作成。              規格：A4カラー 両面 15,000部              表面：高速ジェット船広告 裏面：館山市内観光案内              配布先：東海汽船㈱竹芝ターミナル、東京23区役所や首都圏関係機関等</p> <p>(2) 雑誌等へのPR記事掲載</p> <p>旅行読売2月号（12/28発行） 1P記事掲載</p> <p>(3) 観光PR</p> <p>①千葉県観光商談会【令和2年10月23日（金）/東京・錦糸町】              ちばプロモーション協議会が主催する東京圏を中心とした、22社（約100人）の旅行業者・メディア等が参加した商談会において春の観光PRを実施し、交通手段の1つとして「東京⇄館山航路」の周知を図った。              (株)エイチ・アイ・エス、(株)近畿日本ツーリスト首都圏、(株)はとバスなど</p> <p>②中京圏商談会【令和2年11月19日（木）・20日（金）/愛知・名古屋】              名古屋で開催された千葉県観光商談会に参加、翌日に市内旅行会社等へクルーズ船のチャーター便や高速ジェット船を利用した館山への観光誘致を実施した。              クラブツーリズム(株)、(株)阪急交通社、名鉄観光サービス(株)など7社</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>			

No.	4	事業名	恋人の聖地事業
-----	---	-----	---------

《東京湾フェリー活用事業》

- ・恋人の聖地スポットに指定されている城山公園での館山城見学をはじめ、観光施設に立ち寄ったり、各種体験を盛り込んだモニターツアーを実施した。
- ・恋人の聖地スポットに指定されている「渚の駅”たてやま」に立ち寄り、展望デッキ、海辺の広場や博物館などを鑑賞。
- ・同じく恋人の聖地スポットに指定されている「城山公園」では頂上まで登り、お城を見学した後に景色を楽しんでもらうプログラムを造成した。



“渚の駅”たてやまでの様子



城山公園頂上からの景色を鑑賞

- ・昨年「東京湾フェリーで遊ぶ南房総」というWEBページに掲載した、モデルコース「恋人の聖地巡り」を継続して紹介している。



No.	5	事業名	海辺の賑わい創出事業
-----	---	-----	------------

《海まちフェスタ》

- ・新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、海辺の賑わい創出事業（海まちフェスタ）が中止となったため、委託料を変更交付申請（減額）した。

No.	6	事業名	海を活かした雇用創出事業
-----	---	-----	--------------

**＜起業支援補助金＞**  
 ●市内で起業する者や新規分野において事業を開始する者に対し、新しく事業を起こすために要する経費の一部を助成する。  
 ①事業所等開設経費補助  
 ・補助対象：設備・備品購入費用など事業所等開設経費  
 ・補助率：補助対象経費の1/2以内 上限：240千円  
 ②事業所等賃貸経費補助  
 ・補助対象：新規事業所等の賃貸に要する経費  
 ・補助率：月額賃貸料の1/2以内（上限：20千円/月、12カ月まで）  
 ●令和2年度実績：計11件  
 ①事業所等開設経費補助：8件  
 ②事業所等賃貸経費補助：3件

**＜企業誘致補助金＞**  
 ●市外に本社がある企業で、市内の空き店舗等を活用し、新たに事業所を開設する場合に、当該事業に係る家賃等の一部を助成する。  
 ・対象業種：(1) 製造業 (2) 情報通信業 (3) コールセンター業  
 ・補助対象：(1) 事業所の家賃（敷金、礼金、共益費等を除く。）  
 (2) 購入又は賃貸した建物の改修費、通信回線使用料、通信機器等のリース料、事務機器取得費  
 ・補助率 1/2以内 上限：100万円（家賃・改修費等を含む）  
 ●令和2年度実績：対象となる事業の申請無し

**＜企業誘致トップセールス＞**  
 ●トップセールスは実施できなかったが、企業誘致に向けた担当課職員によるアプローチ（一般財源による対応）を実施した。


No.	7	事業名	海の魅力による移住定住施策
-----	---	-----	---------------

**＜移住支援＞**  
 ●委託先：NPO法人おせっ会  
 ●移住希望者に対する相談窓口や移住支援を実施  
 ●相談件数：235件


【過去5年間の移住相談実績（移住相談窓口経由）】

年 度		H28	H29	H30	R1	R2
移住相談 延べ件数	面談・電話・メール	381件	215件	258件	255件	232件
	イベント	121件	109件	70件	107件	3件
	合 計	502件	324件	328件	362件	235件
移住相談	世帯数	131世帯	117世帯	179世帯	169世帯	104世帯
	世帯員数	263人	230人	343人	285人	189人
移住完了	世帯数	19世帯	27世帯	19世帯	25世帯	20世帯
	世帯員数	30人	69人	49人	49人	43人
	うち子育て世帯	1件	13件	7件	3件	7件

**＜空き施設情報管理・移住施策イベント＞**  
 ●委託先：NPO法人おせっ会  
 ●空き家バンク登録件数：3件 ※令和3年3月31日現在  
 ●新型コロナウイルスの感染拡大状況により、対面での各種イベントが中止となり、オンラインによるイベントを開催した。  
 ①YouTubeライブ配信移住セミナー：計5回実施  
 ・館山市の移住サポート体制や移住体験者による実体験を生配信  
 ・チャット機能により、視聴者側から質問等を受け付け、ライブ配信中に移住相談員が回答。  
 ・各回視聴者：25～30名、移住者：3名  
 ②館山のお仕事さがしオンライン：計4回開催  
 ・南房総のお仕事さがし in 東京の代替イベントとして実施  
 ・各回において、安房地域の企業3社を招き、移住者の採用受入体制等を紹介  
 ・各回視聴者：100～200名、採用者：7名







YouTubeライブ配信イベント



お仕事さがしオンライン

No.	1	事業名	リノベーションまつづくり推進事業
		<p>《たてやま里まちミートアップ》                      【日程】令和2年8月8日(土)                      【会場】中央公園                      【内容】第1回リノベーションスクール@館山の進捗状況発表会                      ※新型コロナウイルスの感染予防のため野外で開催した。</p>	
		<p>《第2回リノベーションスクール@館山 第1回事前講演会》                      【日程】令和2年10月22日(木)                      【会場】房州第1ビル                      【内容】原大祐氏(NPO法人「西湘をあそぶ会」代表理事)による                      地元大磯市活性化のための取組事例の発表</p>	
		<p>《第2回リノベーションスクール@館山 第2回事前講演会》                      【日程】令和2年11月5日(木)                      【会場】房州第1ビル                      【内容】根岸えま氏(気仙沼市移住・定住ターンコーディネーター)                      による移住者として気仙沼市で行っている取組事例の発表</p>	
		<p>《第2回リノベーションスクール@館山》                      【日程】令和3年3月5日(金)～3月7日(日)                      【会場】房州第1ビル、まちなか交流館等                      【内容】実際の空き家を題材にするワークショップ                      3チーム(ユニット)に分かれて事業提案を行う                      ・ユニットA: JR館山駅東口                      ・ユニットB: 渡邊邸 ※銀座通り沿い                      ・ユニットC: 旧ミールおさとや ※銀座通り沿い</p>	

No.	2	事業名	企業誘致推進事業
		<p>《Living Anywhere Week ONLINE in 館山》                      ●新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、当初予定していた『Living Anywhere Week in 館山』の実施方法を見直し、新しい生活様式の実践も意識しながら、「オンラインでどれだけ館山に没入感を得られるだろうか？」をテーマにオンライン形式で開催。                      【日 程】令和2年6月26日(金)～6月27日(土) ※2日間                      【主 催】一般社団法人Living Anywhere(リビングエニウェア)                      【方 法】オンラインによる                      【内 容】・バーチャル空間会場(Spatial.Chat)URL クリック数:延べ200回                      ・LivingAnywhere ONLINE salon「コロナがあなたに問いかけたこと」:参加者18名                      ・LivingAnywhere ×「館山の物件を面白いがる会」:参加者19名                      【感 想】・参加者19名にアンケートを実施(「また参加したいか?」)                      ①したい:85% ②したくない:5% ③対面のほうが良い:10%                      【オンライン開催の様子】</p>	  
		<p>《Living Anywhere VR会議》                      ●今後における企業誘致の推進等に向け、他のコワーキング施設との差別化を図る一環として、VR機器を用いた遠隔会議を実践した。                      【日 程】令和3年3月16日(火)                      【会 場】館山市内(渚の駅たてやま)及び東京都内                      【参加者】館山市・地域おこし協力隊(大田氏)・一般社団法人Living Anywhereほか                      【機 材】VR機器(Oculus Quest 2)を使用                      【VR会議と実際の会議室の様子】</p>	 

No.	3	事業名	関係人口創出・拡大推進事業
<p>≪関係人口の定義（館山市が目指すべき関係人口）について≫</p>			
<p>●一般的な関係人口の定義として「地域にいる人と関係がある」ことが1つの条件であることが多い。                  (例) 二拠点居住者、ふるさと納税で応援してくれる方、ボランティアで来てくれる方、仕事で定期的に通う方など</p>			
<p>●本事業を通じて、館山市の関係人口を増やす視点として、以下の3つの要素が館山市が持つ魅力であり核となると考察した。</p>			
<p>①ワークライフスタイル（働き方） ②リノベーション（まち） ③リベラルアーツ（教育）                  ⇒“自分らしいワークライフスタイルを求め、自ら行動できる人たち”</p>			
<p>●ワークライフスタイルにこだわりがあり、リノベーションの文化がある。これらをYouTubeチャンネルなどを通じて発信することで関係人口の定義を定めていく。</p>			
<p>≪令和2年度の『館山TV』配信内容：計38本≫</p>			
<p>●動画コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ワーケーションシリーズ：6本</li> <li>②地方移住を考えるシリーズ：6本 ※再生数が最も多い</li> <li>③館山の仕事体験シリーズ：8本</li> <li>④ふるさと納税の返礼品、地元の商品レビューシリーズ：11本</li> <li>⑤その他対談など：7本</li> </ul>			
<p>●チャンネル分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴者層 25～34歳：25% 35～34歳：11% 45～54歳：31% 55歳～：14%</li> <li>・性別 男性：76% 女性：23%</li> </ul>			
<p>●委託先：株式会社Ponnuf（ポンヌフ）</p>			
